

校 種	① ・ 中	学校番号	2 0	学校名	宇都宮市立明保小学校
-----	-------	------	-----	-----	------------

## 令和7年度 学校経営計画

### 1 教育目標

#### (1) 基本目標

心身ともに健康でたくましく、確かな学力と豊かな人間性を持ち、ともに支え合いながら変化する社会を主体的に生き抜く児童の育成。

#### (2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

〔目指す児童像〕	
・健康でたくましい子	・進んで考え最後までやりぬく子
・思いやりがあり誰とでも仲良くする子	・ふるさとの人や自然を大切にする子
《合い言葉：元気・やる気・勇気・思いやり》	

〔目指す学校像〕
・一人一人のよさが生きる学校
・安心・安全な学校
・地域とともにある学校

〔目指す教職員像〕
・人間性豊かで信頼される教職員
・教育的愛情を持った教職員
・ともに高め合う教職員

### 2 学校経営の理念

「元気いっぱい 学びしっかり やさしさいっぱい だれもが輝く明保小」を目指し、家庭・地域の信頼と協力のもと、誰もが夢や希望を胸に喜びとやりがいをもって生き生きと生活し、成長できる学校を創る。

- 児童が意欲的に取り組む教育活動を展開し、「知・徳・体」の調和の取れた力強く生き抜く力を養う。
- 教職員が、人権尊重を基盤に児童に教育的愛情を注ぎ、チームの一員としてやりがいを持ち専門性を磨き、教育に邁進することにより、保護者や地域からの信頼を得る。

### 3 学校経営の方針

「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」・「令和7年度指導の重点」を踏まえるとともに、特色ある教育課程の編成・実施・改善に努める。

- (1) 明保小学校の歴史と伝統を踏まえ、長年にわたって築いた校風を継承しながら地域を愛する児童を育成し、地域とともにある学校づくりに努める。
- (2) すべての児童が安心して明るく学校生活が送れるよう、環境を整え、目指す児童像実現に向けて児童の成長に資する取組の充実を図る。
- (3) 児童主体の活動に重点を置き、学校行事や特別活動の充実を図りながら、自己肯定感・自己有用感を育み、教育活動の質を高め認め励ます教育を推進する。
- (4) 学校教育における「学習活動」と「児童指導」の基盤となる学級経営を重視し、学びに向かう集団（学級）づくりをめざして、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。
- (5) 児童の人権を尊重し、教育的ニーズを踏まえた個に応じた指導により、児童・保護者との良好な人間関係を築き信頼される学校づくりを進める。
- (6) 教職員が倫理観と使命感を持ち、資質・能力向上を高めるよう研鑽を積むとともに、校務の重点化・焦点化を推進し、やりがいをもって児童と向き合う時間の充実を図る。

### [宮の原地域学校園教育ビジョン]

心豊かで輝く子供の育成 ～ほめて伸ばす（自己肯定感を高める）～

#### [重点課題]

- ★基礎的・基本的な学力を身に付けさせる。（自ら学ぶ児童・生徒の育成）【学力向上部会】
- ★思いやりを高め規範意識の向上を図る。【学校生活適応支援部会】
- ★継続した筋力向上をめざし、健康で安全な生活を営ませる。【健康・体力・食育促進部会】
- ★小中および地域の交流促進を目指し、情報共有化を図る。【交流連携促進部会】
- ★学校事務の効率化・平準化を図り、学校づくりを支援する。【地域学校園事務室部会】

## 4 教育課程編成の方針

- (1) 教育関係所法令や学習指導要領、とちぎ教育ビジョン2025、第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画、第2次宇都宮市学校教育スタンダード等に則し、本校教育目標の実現に向けて編成する。
- (2) カリキュラム・マネジメントの視点に立ち、思考力・判断力・表現力等と問題解決能力を高めるために、各教科・各領域等の関連を図った教育活動を展開する。
- (3) 歴史と伝統を重んじ、学校・地域・児童の実態を適切に把握するとともに、時代の要請も視野に入れ検討し、特色ある教育課程を編成する。
- (4) 学校教育活動全体を通じた組織的なPDCAサイクルの活性化により教育課程の実施状況を評価し、必要な人的・物的な体制を確保するとともにその改善を図っていく。
- (5) 教育活動実施時数は、学校教育施行規則第51条別表第一に定める授業時数に基づいて編成し、予備時数は、最小限に抑え運用する。

## 5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営【児童と教職員が生き生きと活躍できる学校】
  - ・児童一人一人のよさを伸ばす教育の実践と教職員の誠実な行動により、信頼される教職員集団をつくり努力する。
  - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向け、ICTを効果的に活用するなど、教育の質の向上を図るため、「一人一授業」実践や校内研修並びにOJTによる授業力向上を目指し、チーム明保としての同僚性を強化する。
  - ・地域とともにある学校づくりを具現化するために、PTAや地域人材、大学・団体等の教育資源を積極的に活用した教育の充実により、特色ある学校づくりを推進する。
  - ・教職員が健康でやりがいを持ち、質の高い教育が持続できるように、働き方改革を推進し、業務の適正化・効率化を図る。
- (2) 学習指導【自ら学び考え、互いに表現し合う児童の育成による学力の向上】
  - ・「宇都宮モデル」の活用により、学習の目標を児童と共有し、課題にじっくり取り組み、振り返りによりこれまでの学びを自覚しこれからの学びを見通す。
  - ・1人1台端末等を学習のねらい達成ために効果的に活用し、情報活用能力を高める授業づくりを実施する。
  - 「明保小学習スタンダード」に基づいた基本的な学習態度の指導と互いに認め合う児童の育成により、学びに向かう集団をつくる。
  - ・個々の児童に目を配り、躓きの原因、個人内の伸びや達成度を見極めて、個に応じた指導の充実を図る。
  - ・全校体制による朝の学習や家庭学習の充実により基礎・基本の定着を図る。
  - ・夢や目標をもち自己実現に向け努力する態度を育てるために、キャリア教育を推進する。

(3) 児童指導【人との関わりの中で、豊かな心を育てようとする児童の育成】

- ・物事を多面的・多角的に考える道徳科の学習を核として、異年齢児童や高齢者等、様々な人との関わりふれ合う体験活動や読書活動を推進し豊かな心を育む。

○「明保小のよい子」の徹底により、規範意識を醸成し基本的な生活習慣を確立する。

今年度の重点「毎日めざそう5つ☆」

☆あいさつ・返事 ☆名札 ☆くつ揃え ☆心が温かくなる言葉かけ ☆話の聞き方

○様々な教育活動において、自己有用感を育む場づくりと認め励ます指導の充実を図る。

○一人一人が大切にされ、いじめゼロの実現と不登校を生まない温かい学級・学年風土を醸成する。(情報共有, 教育相談, Q-U調査の活用, SCとの連携)

(4) 健康(体力・保健・食育・安全)【健康で安全な生活を実現し、逞しく生きる児童の育成】

- ・運動が好きな児童を育てる教科体育の充実と各種検定による体力と運動能力の向上を図る

○デジタルを効果的に活用した「元気アップ教育」を着実に推進する。

- ・「うつのみや元気っ子チャレンジ」「うつのみや版ミニマム」等、目標に向かって、ねばり強く運動する児童を育成する。

- ・望ましい食習慣の形成と、日常の保健指導(歯磨き, 手洗い・うがい, 換気)の徹底により、健康を管理する能力を育成する。

- ・自ら仕事を見つけ協力して働く清掃指導や、学校に役立つ活動を通して、自己有用感と公共心を育成する。

- ・安全教育・安全指導を推進し、自他の命を守る判断力と実践力を育成する。

6 学習指導, 児童生徒指導, 健康(体力・保健・食・安全)に関する取組

※ 様式2~4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

元気いっぱい 学びしっかり やさしさいっぱい だれもが輝く明保小

(1) 育てたい資質・能力

- ・自他の考えをもとに主体的に学び合う力
- ・違いを認め, ともに喜び合い, 助け合い, 励まし合う態度
- ・目標に向かってねばり強く取り組む態度
- ・様々な人とのふれ合いによる, 社会性と将来を見つめる力

(2) 具体的取組(提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇)

① ICT活用による個別最適な学びと協働的な学びの充実

- ・授業のねらいを達成するために有効な活用方法を検討←定期的な実践事例の共有
- ・問題解決的な学習への活用を研究
- ・学年段階における達成目標の検討
- ・情報モラル, デジタル・シティズンシップ教育の充実
- ・情報・メディア教育担当者やICT支援員によるミニ研修会や, 各学年で取り組んでいるICT活用事例紹介等の自主的な校内研修会の実施。

② 朝の学習の充実(8:10~8:25)

- ・国語と算数のステップアップシート(夏休みまでは前学年の復習)やAIドリル等を活用し, 基礎・基本を確実に習得させる。(プリント印刷担当者がボックスに配付)

- ・学習指導主任（デジタル・シティズンシップ担当）を中心に計画的に実施する。児童が自主的に学習に取り組めるよう充実した活動とする。

月	火	水	木	金
読書	国語 SU	スマイルネクストドリル	デジタル・シティズンシップ(第2週), 読み聞かせ	算数 SU

### ③ 異学年交流や多様な人材を活用したふれ合い活動

- ・あいさつ運動の実施（地域学校園，地域協議会，PTA，地域住民と共催）
- ・教科・領域と関連を図った多様な交流学习  
高齢者（昔あそび），幼稚園児，地域の文化人（野口雨情，明保小の歴史，職業人へのインタビュー），障がい者支援団体（ちえのわ），短期大学音楽科等
- ◇学校支援ボランティアの充実と組織的対応（家庭科，スタートカリキュラム，読み聞かせ等）
- ・PTA・地域協議会と共催したフラワーロードさわやか集会，あじさい剪定を通じた愛校心や地域を大切に作る心の醸成，「感謝の集い」を通じた感謝の心の醸成
- ◇異学年・縦割り班活動による体験：縦割り班遊び・ありがとう集会等，児童主体による実践的取組

## 8 本市の重点施策・事業との関連

### (1) 地域とともにある学校づくり

#### ① 基本的考え

- ・教育目標等を保護者・地域と共有し，地域とともにある学校を目指すために，地域の教育資源を活用した教育活動の充実に努め，学校評価を適切に実施・公表し，教育活動の改善に生かしていく。

#### ② 主な取組

- ・PTA・地域協議会と協働するフラワーロード集会，アジサイの剪定作業，学校支援ボランティア活動，高齢者とのふれ合い活動
- ・SDGs達成を意識した活動（栽培活動，リサイクル，節電，共存共生社会等）

### (2) 小中一貫教育・地域学校園

#### ① 基本的考え

- ・地域学校園教育ビジョン「心豊かで輝く子供の育成～ほめて伸ばす（自己肯定感を高める～）」を具現化するために，小中学校の教職員が相互理解を深め，一貫した児童・生徒指導を実践する。

#### ② 主な取組

- ・地域学校園合同あいさつ運動，いじめゼロ運動，6年生中学校訪問，中学校教員による乗り入れ授業，「宮っ子チャレンジ」における生徒受入れ，児童生徒指導強化連絡会，各校要請訪問における授業参観，保護者への情報発信
- ・地域学校園授業力向上事業を通じた，ICTの効果的な活用による児童が主体的に学ぶ授業の充実

### (3) 不登校対策

#### ① 基本的考え

- ・すべての子供にとって居がいのある，温かい雰囲気のある学級・学校づくりのために，市教育センター作成の「不登校対策の手引書(第3版)」の取組を着実に実施し，早期発見と組織的な対応に努める。

#### ② 主な取組

- ・一人一人のよさを認め励ます教育，児童を温かい雰囲気での信頼関係の構築，自己の存在意識を実感することができる学級経営とキャリア教育の充実による未然防止
- ・個に応じた多様で適切な教育機会の確保（別室登校支援や1人1台端末の活用）

- ・「かすたネット通信」活用による個に応じた児童理解
- ・アンケート，Ｑ－Ｕ検査，教育相談，欠席情報共有シート等の活用
- ・定期的な児童に関する情報交換やケース会議に基づいたチームでの対応とＳＣ，ＳＳＷや関係機関と連携を図った対応

#### (4) G I G Aスクール構想

##### ① 基本的考え

- ・「宇都宮市学校教育推進計画」及び「宇都宮市情報化計画」，「第2次宇都宮市学校ＩＣＴ化推進基本計画」との整合を図りながら情報教育の推進を図る計画
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の実現を図るために，1人1台端末等のＩＣＴ機器を活用する。発達の段階に応じて，身に付けさせるリテラシーや情報活用能力について研究する。高学年においては，効果的活用について理解した上で，自己の課題解決に向けてどの場面でどのように活用するかを判断する力を育成する。
- ・校務の業務改善のため，ＩＣＴ活用と校務ＤＸの積極的推進を図る。

##### ② 主な取組

- ・授業のねらい達成のための1人1台端末の有効活用（デジタル教科書，クラスルーム，スクールタクト，タブレットシート，キャンバ，Google form等）
- ・委員会やクラブ活動における自治的活動の充実を図るための活用
- ・Google Meet や Zoom を活用した外部関係機関との交流
- ・「宇都宮市 情報モラル/デジタル・シティズンシップ教育 年間指導計画」（朝学 木曜日）に基づき，児童が自律的に責任をもって，互いを思いやりながら1人1台端末利用する力を育成する。
- ・教科や学習内容により，ＡＩ型学習ドリル（朝学 水曜日）を計画的・効果的に活用する。
- ・ミニ校内研修の実施や先進校の授業参観による授業力の向上を図る。

#### (5) 宇都宮学

##### ① 基本的考え

- ・各学年の発達の段階に応じた「宇都宮学」に取り組む。宇都宮の特色や魅力に関する事項についての知識を身に付け，宮っことしての誇りをもって，未来を切り拓いていこうとする実践的な態度を養う。

##### ② 主な取組

- ・5・6年生による「総合的な学習」で「宇都宮学副読本」を活用した取組の充実
- ・3・4年生による「社会科副読本」の活用や4年生施設めぐりでの体験学習
- ・「道徳科地域教材」を用いた授業を通じた地域の教育資源や資料等の活用
- ・伝統を継承する人の生き方に触れる体験的な活動の推進
- ・教科横断的な郷土の歴史，文化，伝統，産業，風土についての学習